



大学日语 泛读教程

主编 王映哲 徐顺凤

哈尔滨工程大学出版社

465

大学日语泛读教程

主 编 王映哲 徐顺凤

副主编 吕光远 张红涛 兰 卉

哈尔滨工程大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

大学日语泛读教程/王映哲主编. —哈尔滨: 哈尔滨
工程大学出版社, 2001. 3
ISBN 7-81073-133-5

I. 大... II. 王... III. 日语—阅读教学—高等学
校—教材 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2001)第 13835 号

哈尔滨工程大学出版社出版发行
哈尔滨市南通大街145号 哈工程大学11号楼
发行部电话(0451)2519328 邮编:150001
新华书店经销
肇东粮食印刷厂印刷

*

开本 850mm×1168mm 1/32 印张 14.5 字数 377千字
2001年4月第1版 2001年4月第1次印刷
印数:1~1000册
定价:18.00元

前 言

为了适应大学日语教学的不断发展,使学习日语的学生能够系统、扎实地加以学习,进一步提高外语水平,我们依据《大学日语教学大纲》的要求,在总结了多年教学经验的基础上,汇编成此书。

目前,日语学习者往往找不到语言规范、难易适中、内容丰富、体裁多样的文章。难以实现通过阅读来达到补充知识、提高日语能力的目的;一些学生为准备日语水平考试而盲目地寻找简单化的习题来做,从而难以实际提高自己的日语水平,收不到良好的使用效果。

编者在从事大学日语教学过程中,切身感受到上述问题带来的负面影响。因此从日文原版读物中精选出各种题材的现代日语文章 117 篇,通过编辑,整理、提供给广大的日语学习者。

本书在编辑时,力求循序渐进,由浅入深。在 38 篇精读文章后附有疑难词汇释义、关键词使用,内容理解三大部分,其后附泛读文章以供练习。

本书可供大学日语专业泛读课,大学日语阅读课及各类日语教学选用,适用于大学日语专业学生、非专业学生及各类日语学习者为提高自我日语能力的阅读。

本书作为日语教学与学习的辅助教材,旨在通过大量的阅读,加强对词语基础知识的掌握,提高语言的实际运用能力。培养学生对日语的整体感性认识,加深对日本各方面的了解及日本人思维方式的理解,以达到真正掌握日语、进行交流的目的。

由于时间仓促，水平有限，书中难免有不足之处，诚请日语界前辈及广大读者批评指正。

编者

2000年12月

目 录

第 1 回	日本で使われている日本語	1
第 2 回	言葉とそれ以外の要素	9
第 3 回	言葉の力	21
第 4 回	習慣の違い	31
第 5 回	日本人と食生活	44
第 6 回	生きがいをもって	53
第 7 回	生活を重視する若者たち	63
第 8 回	海外移住で豊かな老後というけれど	73
第 9 回	結婚難時代	81
第 10 回	どちらがいい—男の子・女の子	93
第 11 回	女子学生の直面する現実	103
第 12 回	女らしさ	113
第 13 回	女性の意識変革	121
第 14 回	まがりかどの中高年	131
第 15 回	働き蜂日本人と長期休暇	39
第 16 回	ストレスと人間関係	148
第 17 回	生命ある学び方と自らの発見	157
第 18 回	従順の意味—親子関係比較論	166
第 19 回	非行問題	175
第 20 回	少年寅さんは落ちこぼれだった	186
第 21 回	ミッキーマウスの繁殖力	196
第 22 回	徳良先生	206

第 23 回	風の歌を聴け	217
第 24 回	カーネル・サンダースと二宮金次郎	226
第 25 回	日向	235
第 26 回	恩知らず	243
第 27 回	字のないはがき	249
第 28 回	同級生の会のこと	258
第 29 回	二十歳	266
第 30 回	日本人の質問	279
第 31 回	運転現象	287
第 32 回	脱学歴社会へのきざし	297
第 33 回	コンピュータ	308
第 34 回	身体に関する言い回し	320
第 35 回	夏季大学的効用	331
第 36 回	生活と美	341
第 37 回	一九六九の夏	351
第 38 回	青いピカソ	360
閲読練習	370
第 39 回	370
第 40 回	374
第 41 回	379
第 42 回	383
第 43 回	385
第 44 回	389
第 45 回	392
第 46 回	394
第 47 回	397
第 48 回	399

第 49 回	402
第 50 回	407
第 51 回	410
第 52 回	416
第 53 回	419
第 54 回	424
第 55 回	427
第 56 回	431
第 57 回	434
第 58 回	437
第 59 回	441
第 60 回	444
第 61 回	448

第1回 日本で使われている日本語

拝啓

田中先生，お元気でしょうか。ボストンではいろいろお世話になりました。東京に来てから今日でちょうど3か月になりますが，やっと日本の生活にも慣れてきました。先生に教えていただいた日本語を使って毎日何とか生活していますが，いろいろおもしろいことがあります。

まず，日本語の中に片仮名やローマ字で書かれた外国語がとても多いのにはびっくりしました。ホストファミリーのお母さんが読んでいるファッションの雑誌を見たら，「ゴージャスでモダンなフィーリングにフィットする新しいタイプのホームウェア」というのがありました，こういうのが多くあります。テレビを見てもコマーシャルで外国人が多く出てきて，たくさん外国語を使っています。町を歩いていると意味がわからない英語が書いてあるTシャツを着た若者をよく見ます。また，私がアメリカ人だからでしょうが，英語の言葉をたくさん使って話をする日本人が多いです。親切のつもりで英語の言葉を使うのですが，発音が日本的なのでわからないことがよくあります。

それから，日本語の文法のことですが，短くした形がたくさん使われています。「きのう飲みすぎちゃって今日少し頭が痛いです」，「今日勉強しなきゃいけないの」，「きのうはゆっくり寝れた」，「先生に10ページのレポートを書かされた」などいろいろあります。アメリカでは，「飲みすぎてしまって」，「勉強しなけ

れば(しなくては)」、「寝られた」、「書かせられた」と言いなさいと教えられたので短い形を聞いた時はじめはわかりませんでした。今ではすっかり慣れました。お父さんは短い形がきらいらしく、「寝れた」、「書かされた」という形を聞くと、「今の若い人は正しい言い方を知らない。もっと日本語を勉強した方がいいね」と言っていていつもいやな顔をします。でも、言葉はだんだん簡単な形になるのが普通だから、短い形が多くなってもいいのではないのでしょうか。

お父さんの話では、このごろ敬語の正しい使い方を知らない人が多くなっているそうです。会社の部下が部長のお父さんに全然敬語を使わなかったり、敬語をまちがって使ったりすることがよくあるそうです。私も日本人がどういう時どんな敬語を使うか気をつけて聞いていますが、思ったほど敬語は使われていないようです。「ゴルフをされますか?」、「明日ミーティングに行かれますか?」のように受け身の形を使って敬意を表す人が多いようですが、どういう時に受け身の形を使い、どういう時に「いらっしゃる」、「お読みになる」の形を使うかくわしいことはよくわかりません。知らない人や目上の人には敬語を使いなさい、とアメリカで勉強したのでそうするのですが、敬語を使うと、「そんな堅苦しい話し方はしなくてもいいです。普通の話し方をして下さい」とよく言われます。大学の先生やお父さんの友達と話をする時は、アメリカで勉強した敬語を使って話すようにしていますが、まだまだむずかしいです。

日本の習慣がまだよくわからなくて、毎日いろいろ変なことをしてしまいますが、元気で生活しています。来周ホストファミリーと一緒に京都に行きます。また京都から手紙を書きます。

田中先生

12月7日

デービッド・グリーン

一、新しい言葉

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ポストン | [地名] 波士顿 |
| 2. なんとか | [副] 想办法; 勉强 |
| 3. ホストファミリー | [名] 接受留学生的家庭 |
| 4. ゴージャス | [形动] 豪华, 华丽 |
| 5. フィーリング | [名] 感情; 感觉 |
| 6. フィット | [名] 合身, 合适 |
| 7. ホームウェア | [名] 家庭服 |
| 8. ミーティング | [名] 会议 |
| 9. 受身(うけみ) | [名] 被动; 被动态 |
| 10. 堅苦しい(かたくるしい) | [形] 严格; 郑重其事, 拘泥形式 |

二、言葉の使い方

1. なんとか

本文例: 先生に教えていただいた日本語を使って毎日なんとか生活しています。

(1) 遅刻するのではないかとあわてたが、なんとか間に合った。

(2) 日本語はまだ難しいことは話せませんが易しいことならなんとか話せます。

(3) 大学を卒業したら、なんとかして弁護士の資格をとりたいと思う。

(4) それくらいはなんとか1人でできます。

2. ~つもり

本文例：親切のつもりで英語の言葉を使うのですが、発音が日本的なのでわからない。

- (1) 相手を喜ばせるつもりで言ったことが逆に怒らせることになった。
- (2) おもしろいつもりで冗談を言ったのに、誰も笑ってくれなかった。
- (3) 彼女は自分が美人のつもりでいるらしい。
- (4) 自分では日本語がかなり上手なつもりでいたが、日本人と話して恥をかいてしまった。

3. ～ちゃう/じゃう

本文例：昨日飲みすぎちゃって今日少し頭が痛い。

- (1) 早くしないと遅れちゃうよ。
- (2) 牛乳全部飲んじゃったから、また買っとかないと。
- (3) 財布を落しちゃった。
- (4) うっかりして傘を電車の中に忘れちゃった。

4. ～なきゃ/~なけりゃ

本文例：今日勉強しななきゃいけないの。

- (1) やってみなけりゃ、いいかどうかはわからない。
- (2) 太りたくなけりゃ、あんなに食べなきゃいいと思うわ。
- (3) 私も歌わなきゃいけないんですか。
- (4) 手術をしなきゃだめだと医者に言われた。

5. ～では

本文例：お父さんの話では、このごろ敬語の正しい使い方を知らない人が多くなっているそうです。

- (1) ラジオの話では、あした雨が降るそうです。
- (2) 先生の話では、来年の日本語はもっと難しいそうです。
- (3) 新聞で読んだところでは、女性の結婚年齢はますます上

がっているらしい。

- (4) 私の読んだところでは、細菌の研究が悪用されて化学兵器が生まれたのだそうだ。

6. ほど

本文例：思ったほど敬語は使われていないようです。

- (1) ニューヨークは心配したほど危くありませんでした。
(2) マドンナのコンサートは想像していたほどよくありませんでした。
(3) 日本語の勉強は思ったほどむずかしくない。
(4) 田中さんはあなたが思ったほど悪い人ではありません。

三、練習

本文をよく読んで、下の質問に答えなさい。

- (1) これは誰から誰への手紙ですか。
(2) グリーンさんが東京に来たのは何月何日ですか。
(3) グリーンさんは1人でアパートに住んでいますか。
(4) グリーンさんがびっくりしたのはどんなことですか。
(5) グリーンさんが日本人の使う英語の言葉がわからないのはどうしてですか。
(6) お父さんは短い形が好きですか。
(7) グリーンさんは短い形がたくさん使われていることについてどう思っていますか。
(8) お父さんの話で、このごろ多くなっているのはどんなんですか。
(9) グリーンさんは敬語の使い方がよくわかりますか。

四、次の(1)～(3)の文章を読んで、それぞれの問いに答え

なさい。

1. 学校の英語の授業について、中学・高校生に聞いてみると「勉強しても、将来使わない」とか「授業がおもしろくない」という返事が返ってくる。授業では英語を通して英米の文化や人々について学ぶのが普通だ。これが学習者にとってあまり身近に思えないのではないだろうか。

[問い] 「これ」は、何を指しているか。

- (1) 英語を将来使わないこと
- (2) 英語の授業がおもしろくないこと
- (3) 英語で英米のことを学ぶこと
- (4) 英語を身近に思えないこと

2. 「成田の飛行場なんかでね、アメリカ出張から帰ってきたビジネスマンが、迎えの人と握手してるのをよく見ますがね、あれはね……。ニューヨークの空港では握手で別れて来ても、こっちへ帰ってきたらやっぱりお辞儀しなきゃ……。アメリカ式が何でもいいなんて思ってる人は本当の国際人じゃないね。」

[問い] 話者が言いたいことは何か。

- (1) 空港で握手するのはおかしい。
- (2) ビジネスマンはお辞儀をするべきだ。
- (3) アメリカ人は国際人ではない。
- (4) 国によって挨拶を使い分けるべきだ。

3. 話し上手というものは、しばしば自分だけがわかっている話をしがちなものです。別に他意あってのことではありませんが、自分がわかっていることは、相手もわかっているのだと、つい思いこんでしまうのです。

「この前、福岡へ行ったとき」といえば、話し手には、○月×日に、出張で佐藤さんと林さんに行ったときのさまざまな情景

が浮かんでいます。(①)、話を聞いている人に、そんなことがわかるはずがありません。

「この前、出張で行ったとき」という話し方をすれば、その場所が福岡だということを、本人は知っていますが、それ以外の方は、出張先が札幌なのか北京なのかサンフランシスコなのかわからないのです。

こういうことが原因で、話がこんがらがることもよくあります。「福岡へ出張したとき」といっても、一方は去年の話をしているのに、もう一方は、先月のことを思い浮かべていたりします。話の途中でそのことに気がついて、「なーんだ、それ、去年の話か」などということが、よくあるではありませんか。

雑談の内容を広げたり、戻したりすることは、話の道すじを通すことでもあります。

道すじが通らなければ、先へ進まないからです。

話がどうもわかりにくいときには、「5W1H」のうち、どれかの要素が欠けていると(③)。欠けている要素が複数のこともあります。

(秋庭道博「入門 雑談の技術」大和出版より)

問1 (①)に入る適当なことばを選びなさい。

- (1) それゆえ
- (2) なぜならば
- (3) ところが
- (4) したがって

問2 なぜ②「話がこんがらがる」のか。

- (1) 話し手が自分だけがわかっている話をしがちだから
- (2) 話し手が他意あつてのことではないから
- (3) 自分がわかっていることは、相手もわかっているから
- (4) さまざまな情景が浮かんでくるから

問3 (③)に入る適当なものを選びなさい。

- (1) いうわけではありません
- (2) いったはいられないのです
- (3) いったいいでしょう
- (4) いえないのです

第2回 言葉とそれ以外の要素

大学で三年ぐらい日本語を勉強すると、日常会話でよく使われる重要な文法はだいたい全部習い、辞書を使えば新聞の記事も何とか読めるようになる。会話もかなり難解な内容の話までできるようになる。しかし、日本に行ってすぐ問題なく日本の社会にとけ込めるかということ、なかなかそうはいかない。日本の社会、文化、習慣についての知識が不足しているために、来日当初は様々な問題に直面するだろう。将来日本に行った時に困らないように、日本での日常生活上注意すべき点をいくつか列挙してみよう。

日本人同士の会話では、最後まで完成した文を言わないで、終わりが不完全なまま文が終わってしまうことがよくある。例えば、「今晚一緒に酒でも飲みに行きませんか?」という質問に対して、「今日はちょっと……」と答えたり、「宿題はどうしたんですか?」という先生の質問に対して、学生が「きのうの夜忙しかったものですから……」と答えたりする。何か相手に都合が悪いことを言わなければならないような場合、特にそうである。禁煙の場所でたばこを吸っている人に、「あのう、ここ禁煙なんですけど……」とか、図書館でみんながうるさいと思うくらいの声で話している人達に、「あのう、ちょっと声が……」とか言い、相手に自分の意図をわかってもらう。非難する口調ではなく、頼むような言い方をする。完全な文でなくても、聞き手は話し手